瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックにおける
米陸軍「第476輸送中隊」の新編に関する要請

令和８年11月19日

神奈川県基地関係県市連絡協議会

外　務　大　臣　　茂　木　敏　充　殿

防　衛　大　臣　　小　泉　進次郎　殿

神奈川県基地関係県市連絡協議会

会　長	神奈川県知事	黒　岩　祐　治
副会長	横 浜 市 長	原　澤　敦　美
副会長	相模原市長	本　村　賢太郎
	藤 沢 市 長	鈴　木　恒　夫
	逗 子 市 長	桐ケ谷　　覚
	大 和 市 長	古谷田　　力
	海老名市長	内　野　　優
	座 間 市 長	佐　藤　弥　斗
	綾 瀬 市 長	橘　川　佳　彦

10 月 29 日、国から関係自治体に対して、10 月 16 日に瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックにおいて米陸軍「第 476 輸送中隊」が新編されたとの情報提供がありました。

この部隊新編は、厳しく複雑な安全保障環境に直面する中、インド太平洋地域における米軍の海上輸送能力及び即応性を向上させ、日米同盟の抑止力・対処力の強化に資するものとのことですが、瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックに配備される船舶の増加の有無や具体的な配備開始時期等、不明な点が多くあります。

瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックは横浜港の中心に位置し、都市部に所在していることから、部隊の運用に当たっては、基地周辺への影響を最小化することが必要です。また、周辺住民の方々の不安を払しょくするためには、部隊新編に関する更なる情報提供等が不可欠となります。

加えて、隊員が居住するとされている県内の基地についても、都市部の人口密集地に所在していることから、同様の配慮が必要です。

ついては、基地周辺住民の方々の安全・安心を確保するため、以下の項目について、要請します。

１　部隊の配備スケジュール、船舶増の有無、基地周辺に影響が生じうる活動の有無等について適時適切に情報提供すること。

２　部隊新編による瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックの周辺市街地や民間船舶等への影響を最小化するよう万全の対策を講じること。

また、隊員が居住するとされている県内基地においても必要な対策を講じること。

３　今後、県内基地への新たな部隊の配備や大規模な施設整備等が行われる場合には、事前かつ速やかに情報提供するとともに、地元の意向を尊重すること。

４　瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックを含めた県内基地の整理・縮小・早期返還に取り組むこと。